



# 優秀賞 (居室部門)

タイトル

築25年公団型マンション 30歳の家

タイプ

賃貸共同建

講評

設計者の自宅。下地RC壁を露出させるなど、若々しいセンスで公団賃貸住宅の旧来のインテリアイメージを一新させている。自宅ならもっと試行・冒険してみても良かったのでは？

リフォーム前後の写真



(a)



(b)



(c)



(A)



(B)



(C)



(D)



(E)

リフォームの動機/設計・施工の工夫点/施主の感想 など

- ・築25年以上経つ団地型のRC共同住宅3L+DKに転居。  
「30歳近辺の夫婦が今後幼い子供達と暮らしていく家」
- ・間取りを2LDK+倉庫に変更。広く、くつろげるリビングを中心とした構成。デスクスペースを家具で仕切って作り、いつでも家族がリビングに集まれる環境とした。
- ・予算の都合から、今回はまず間仕切壁、床、給排水管の変更を中心に、壁や天井は既存利用かクロスを剥し下地RCを露出した。
- ・床・建具・巾木に天然タモ材を使い空間の連続性を出し、また、造作家具は白で統一。明るい雰囲気を出した。

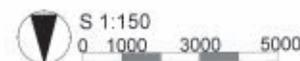
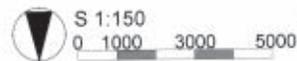
- ・リビングの天井のみ米松を目透かし張りし、高さ方向の奥行き感を出す意匠とし、内部に防音材を敷き詰めた。床は全面防音材敷設。
- ・建具周りは、元建具枠に両面ガラスのディスプレイケースを作成、各部屋の入口欄間にガラスを使用するなど採光にこだわった。
- ・板張り天井、下がり天井に埋込DL、食堂のオレンジの壁、追加コンセントやスピーカー配線管に金属管を使用などのアクセントを設置。
- ・今回は自宅だが賃貸のためベースをしっかりと作り、かつ遊べる範囲で住宅の自由度を表現することが必要であり、価値を高めながら安価に3LDKに戻せるよう計画を行った。

特に配慮した住宅性能：

データ		構造/築後年数		鉄筋コンクリート		造/年	
所在地	千葉県千葉市稲毛区	構造/築後年数	鉄筋コンクリート	造/年	25	年	
該当工事面積	65 m <sup>2</sup>	該当部分工事費	350	万円			
居住者構成	2 人 (大人 <15歳以上)	2 人 子供		人			ペット
設計者		担当者	藤村 隆史				
施工者	常幸建設 (株)	担当者	小澤 登志広				

リフォーム前

リフォーム後



改修範囲 RC壁